

## 新型コロナワクチン接種について

### 1 概要

新型コロナワクチン接種については、令和5年3月7日付けで厚生労働省健康局健康課予防接種室より「今後の新型コロナワクチン接種について」事務連絡があり、令和5年度の1年間は、現行の特例臨時接種の実施期間を1年間延長し継続することとなりました。

### 2 オミクロン株対応ワクチン接種状況（令和5年3月1日現在）

	65歳以上	12歳～64歳	計
接種者数	9,642人	7,494人	17,036人
接種率	76.4%	28.4%	44.0%

### 3 令和5年度の接種内容 別紙リーフレット参照

#### (1) 12歳以上（追加接種）

期間	接種内容	対象	ワクチン
5/7まで	現行接種延長	追加接種可能な全ての方	オミクロン株対応 2価ワクチン
5/8～8月	令和5年春開始接種 1回	65歳以上 基礎疾患を有する方等 医療従事者等	
9月以降	令和5年秋開始接種 1回（予定）	追加接種可能な全ての方	検討中

#### (2) 5歳から11歳（追加接種）

期間	接種内容	対象	ワクチン
3月～8月	追加接種 1回	追加接種可能な全ての方	小児用オミクロン株対応 2価ワクチン
5/8～8月	追加接種 さらに1回可能	基礎疾患を有する方等	
9月以降	令和5年秋開始接種 1回（予定）	追加接種可能な全ての方	検討中

#### (3) 初回接種 生後6か月以上の全ての未接種者を対象に1年間継続

### 4 本町の接種体制（検討中）

#### (1) 基本的には個別接種にて対応

#### (2) 接種券発送

次の方へは順次接種券を送付予定（4月下旬以降）

- ①65歳以上でオミクロン株対応ワクチン接種済の方 約9,700人
- ②64歳以下で5回目接種が完了した方 約2,000人  
（60歳から64歳、医療機関や高齢者施設等従事者、12歳以上59歳の重症化リスクの高い方）
- ③生後6か月到達の方
- ④5歳から11歳の追加接種対象の方

※接種対象に該当する方で、接種券がない方は、コールセンターへ発行申請

※接種対象に該当する方で、接種券をお持ちの方は利用可能。

## 5 予算関係

接種費用 : 4月から令和6年3月分

体制整備費用 : 4月から8月分

※9月以降分は、実施内容や国庫補助等が示された後に予算計上

歳入

新型コロナウイルスワクチン接種対策負担金(10/10) 85,918 千円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(上限額あり) 49,245 千円

歳出

新型コロナウイルスワクチン接種事業 135,163 千円

## 6 周知方法

広報4月号 ホームページにて周知

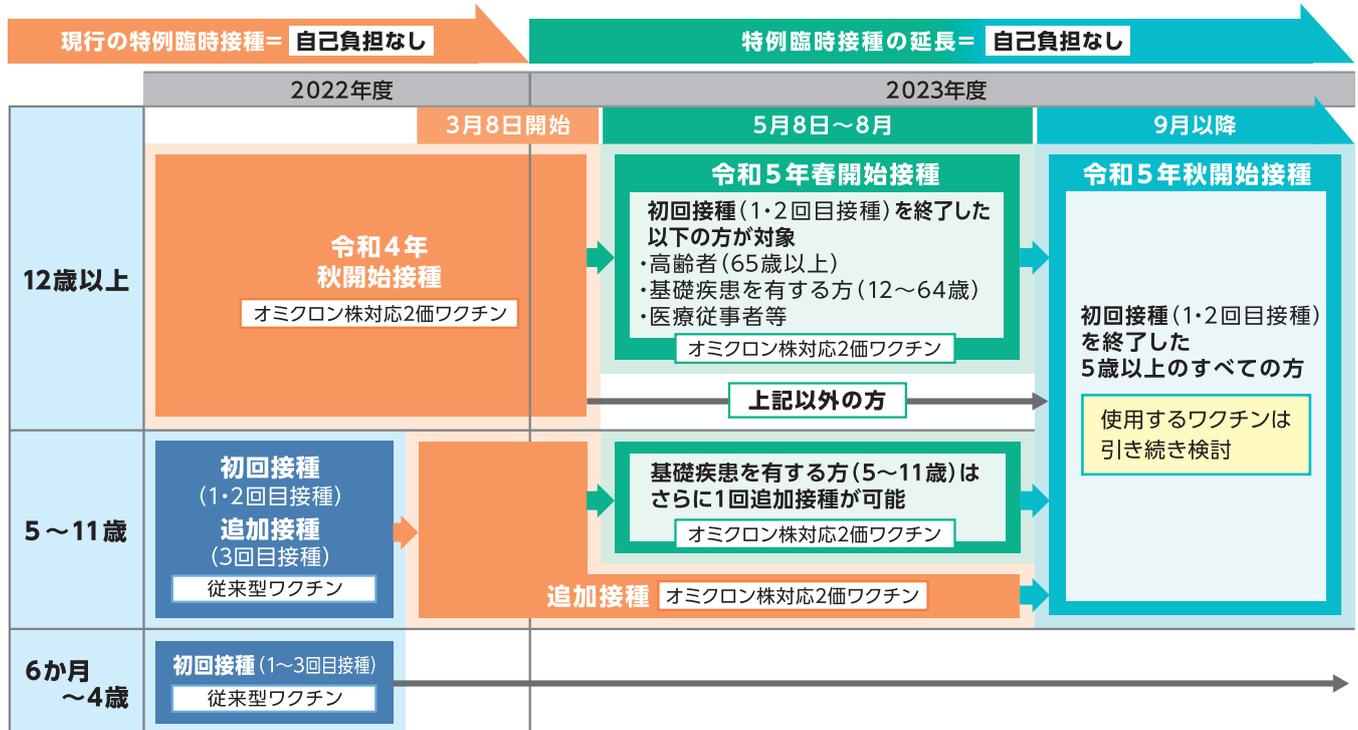
個別通知を4月下旬から順次送付



# 令和5年度も、すべての方に自己負担なしで 新型コロナワクチンを接種いただけます。



## 令和5年度における新型コロナワクチンの接種のイメージ



(※) 3月8日以降は追加接種にはオミクロン株対応2価ワクチンを用いることになります。

## よくあるご質問

### Q1. 65歳以上の高齢者は令和5年度は必ず2回ワクチンを接種しなければならないのでしょうか？

A1. 65歳以上の高齢者の方など重症化リスクが高い方については、国の審議会において、ワクチンの効果や持続期間等を踏まえて通常、秋から冬に1回のところを、前倒しで1回追加することが望ましいとされました。  
接種は義務ではなく個人の判断によるものですが、令和5年度は、春から夏の時期(5月8日～8月末まで)と秋から冬の時期(令和5年9月～)の2回の接種をお勧めしています。

### Q2. なぜ5月から令和5年度の接種が始まるのですか？

#### 最後にワクチンを打ってからどれくらい間隔をあけてワクチンを打てばよいですか？

A2. 65歳以上の方には、春から夏の時期(5月8日～8月末まで)と秋から冬の時期(令和5年9月～)の2回の接種をお勧めしています。これは、新型コロナの流行が見込まれる時期等を勘案し、一定期間の間に、接種を行うものです。  
ここ数年、年末年始に流行がみられることから、5歳以上のすべての方を対象として令和5年9月から年末までの間に令和5年秋開始接種を行うことに加え、ワクチンの重症化予防効果は高齢者等では6か月程度で低下するとの報告もあることや、令和4年秋に開始された高齢者の方のオミクロン株対応2価ワクチンの接種のピークは令和4年11月～12月であったことから、高齢者の方等を対象に令和5年春開始接種を5月に開始します。  
いずれの方についても、最終接種からの接種間隔は薬事上少なくとも3か月以上あけることとなっていますが、必ずしも3か月後に打つことをお勧めしているものではありません。接種を希望される方は、国が推奨している時期に接種を行うようにしましょう。

令和4年秋開始接種は令和5年5月7日で終了しますので、まだ令和4年秋開始接種を受けていない方のうち令和5年春開始接種の対象者でない方(健常な12歳以上65歳未満の方)は、令和4年秋開始接種を希望される場合には、必ず令和5年5月7日までに接種してください。

接種券については市町村ごとに対応が異なりますので、お住まいの市町村にお問い合わせください。

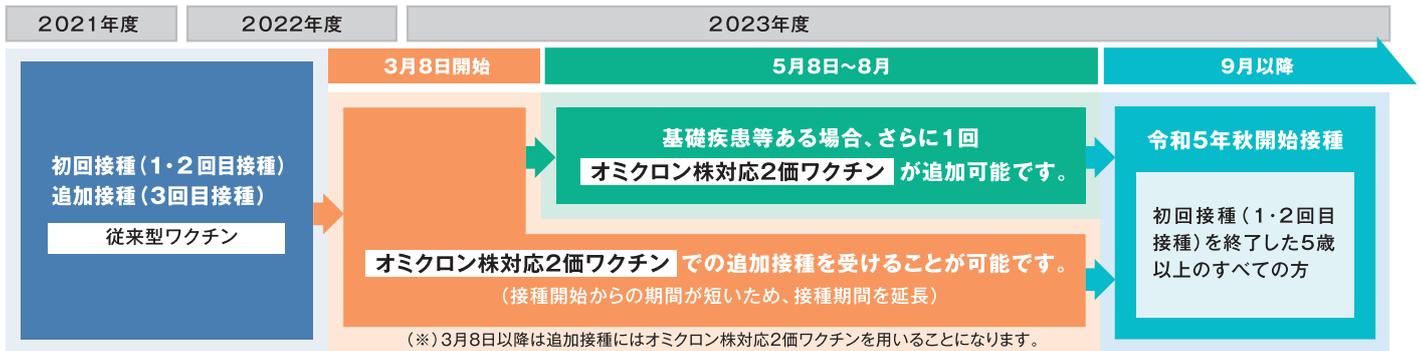
## 5歳から11歳のお子様への追加接種も



3月8日から、オミクロン株対応2価ワクチンになります。

### 5歳から11歳のお子様の接種スケジュール

- オミクロン株対応2価ワクチンは、少なくとも1・2回目接種を完了した5～11歳のお子様を対象です。
- 最後の接種から3か月以上、間隔をあけて接種します。ファイザー社の5～11歳用のオミクロン株対応2価ワクチンを使用します(※)。(※)ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。



初回接種(1・2回目接種)が  
まだの方

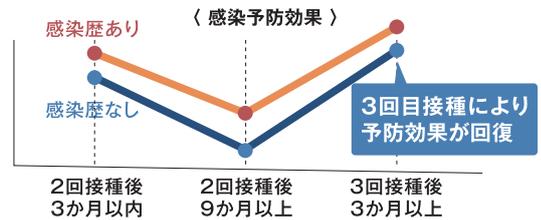
まずは、1・2回目接種(従来型)を受けてください。

(※)1・2回目接種(従来型)が完了すれば、最後の接種から3か月以上間隔をあけて、オミクロン株対応2価ワクチンを接種できます。

### Q1. 3回目接種には、どのような効果がありますか？

A1. 3回目接種(従来型ワクチン)により、現在流行しているオミクロン株に対して、感染しにくくなる効果が期待できます。

米国において、5～11歳の子どもを対象とした研究で、従来型ワクチンの初回接種の効果は徐々に低下し、9か月以上経過すると大幅に低下すると報告されていますが、従来型ワクチンを追加で接種して3～5か月経過すると、新型コロナへの感染があっても、感染予防効果は50～60%程度であったと報告されています。



出典:Khan FL et al. Estimated BNT162b2 Vaccine Effectiveness Against Infection With Delta and Omicron Variants Among US Children 5 to 11 Years of Age. JAMA Netw Open. 2022 Dec 1;5(12):e2246915.

### Q2. 子ども用のオミクロン株対応2価ワクチンは、海外で使用されていますか？

A2. 子ども用のオミクロン株対応2価ワクチンは米国ですでに使用されており、安全上の大きな問題はないと報告されています。

米国においては、2022年10月から子ども用に使用されており、米国CDC(疾病管理センター)の報告によれば、80万回以上接種された実績に基づいて、安全性の評価が行われています。米国で接種を受けた方や親などの報告に基づくデータによると、発熱は約19%、疲労感約30%、頭痛は約20%の方に現れたとされています。また、医師等による報告に基づくデータによると、接種後の死亡や心筋炎と報告されたものはないとされています。

- ◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。また、5歳から11歳のお子様のワクチン接種には、保護者の同意と立ち会いが必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、ワクチンを受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

- ◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

